



PTAの活動紹介 第3回

地域で育つ中学生を支える

～町田市立町田第二中学校PTA～

町田市立町田第二中学校

- 昭和32年4月 開校
- 生徒数 531名/15学級
- 校長 吉川 篤

町田市立町田第二中学校(以下、「町田第二中学校」という。)は、町田駅から徒歩20分、緑豊かな公園横の高台に位置しています。「生徒が生き生きと学び活動する学校」を目指して、学校・地域と共に活動しているPTAを紹介します。

交流と学習を中心に

「知・徳・体」のバランスを大切にしている町田第二中学校では、部活動も活発に行われています。PTAの組織として、本部、各学年委員、広報部、文化部、校外活動部、推薦委員会と共に、部活動部があります。

部活動部では、各部活動の保護者代表による懇談会を年2回開催し、活動紹介や運営で課題となっていること、部ごとの3年生を送る「三送会」の具体的な内容についての情報交換等、これまでの経験を次の保護者につなげる会になっています。

また、今年度は、「都中P^(注)第7ブロック会」の幹事校として、8月に「アクティブ・ラーニングのススメ」というテーマで、地域にある「音楽座ミュージカル」から講師を招き、「感じて動く力」、「場のつくり方」、「他者とのかかわり方」について体験する参加型の講演会を実施しました。身体を動かしながら楽しく自然に交流する機会となりました。町田第二中学校PTA独自でも、文化部が企画した「おなか元気教室」等の学習会を開催しています。



部活動部



講演会



おなか元気教室

地域との連携を積極的に

町田第二中学校がある地域は、以前から「青少年健全育成地区委員会」の原町田地区委員会、町田東地区委員会との連携が深く、PTAが窓口となって地域行事と中学生をつないでいます。地域の祭りで、中学生が御神輿の担ぎ手となった年もありました。「ふれあいまつり」や夏の「キャンプ」では、中学生が裏方としても関わり、会場設営や安全管理、小学生の引率等を行っています。地域行事に参加することで、地域の大人の活動を知り、自分たちの地域での役割の変化を体験しながら、中学生は成長していきます。

町田東地区委員会が主催し、多くの小学生や幼児が参加する「子どもマラソン大会」では、陸上競技部の生徒が準備体操や先導、最終走者に伴走する後走等で活躍しました。

また、町田第二中学校PTAが主催して「地区懇談会」を開催し、学校、学区内町内会、PTAとの意見交換を行っています。今年度は、避難所運営ゲームも実施しました。

小学校、高校とも連携して

町田市では、小・中学校9年間の連続性を確保し、学力向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細かな指導を行うため、小・中学校が連携した様々な取組を行っています。

町田第二中学校PTAが主催する「二中学区内小学校との懇談会」では、学区内の三つの小学校の校長とPTA役員が参加し、各校のPTA活動について情報交換するとともに、非常時の対策や、各校の電話連絡網やメール配信等の実情についても意見交換を行っています。さらに、小学6年生全員が中学校の授業と部活動の両方を体験できる「二中オープンスクール」や小中合同の引渡し訓練についても話題にします。

また、PTA文化部が企画し、近隣の都立高校3校を見学するバスツアーを7月に開催し、高校の見学と参加者の交流の機会を設定しています。

中学生になると、子供たちの行動範囲が広がり、保護者との距離が変わってきます。中学生が地域社会での自分たちの役割を体験し、将来や進路について考えるためのサポートをする町田第二中学校PTAの活動は、保護者が交流する中で子育ての悩みについて話し合い、互いに学び合う場となっています。

注「東京都公立中学校PTA協議会」(以下、「都中P」という。)では、都内を10のブロックに分け、ブロック内の情報交換や研修を行っています。都中Pでは、広報紙コンクールや研修会を通じて、心豊かな子供を育てるPTA活動を推進しています。